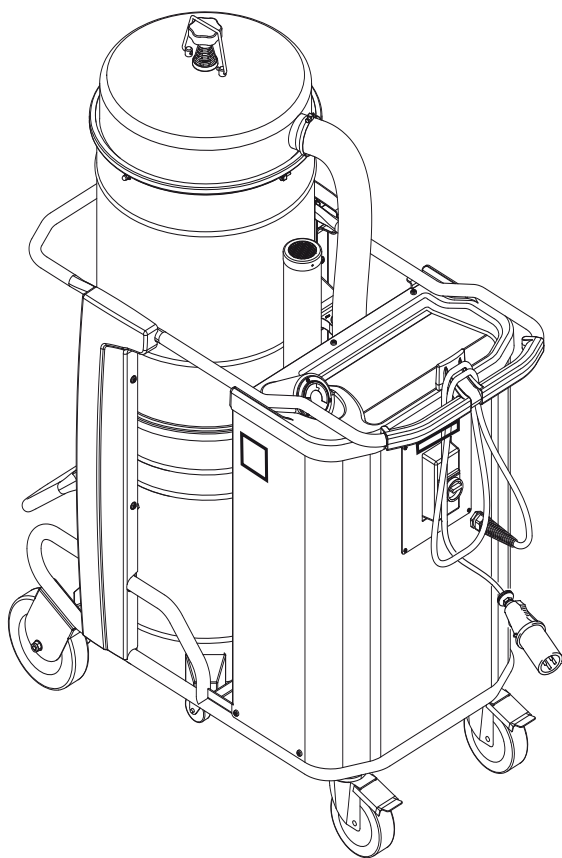
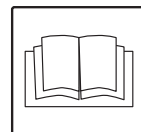
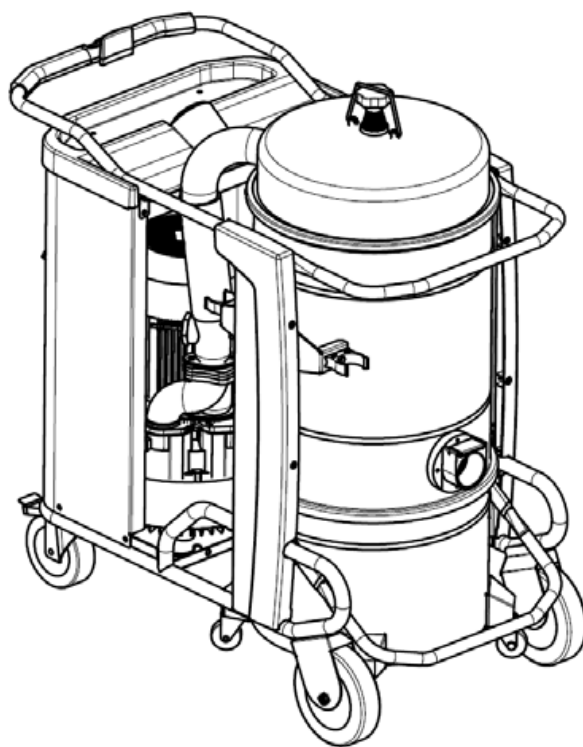


T22 - T40W- T63

取扱説明書



T22/T40W



T63

目次

使用に関する説明.....	4
オペレータの安全のために.....	4
掃除機の使用に関する一般的な情報.....	4
適切な使用法.....	4
環境への粉塵放出.....	4
一般的な推奨事項.....	5
電気掃除機の説明.....	6
ラベル.....	6
オプションキット.....	7
付属品.....	7
梱包および開梱.....	8
作業準備 – 電源接続.....	9
延長ケーブル.....	9
ウェットおよびドライ用途.....	10
保守および修理.....	11
掃除機の仕様.....	11
寸法.....	12
制御機器、表示器および接続.....	13
始業点検.....	14
始動.....	15
掃除機の始動／停止.....	15
プライマリーフィルターのシェーキング.....	16
非常停止.....	16
容器を空にする.....	16
デイスチャージシステムキット（ロンゴパック）の使用方法和バッグの交換.....	18
清掃作業の終了時に.....	20
保守、清掃および除染.....	21

フィルターの分解および交換	21
フィルターの交換	22
HEPA フィルターの交換	23
モーター冷却ファンの点検および清掃	24
気密性の点検	24
サイクロンプレートの清掃（オプション）	26
電気掃除機の廃棄	27
配線図	28
トラブルシューティング	30
リミッティングバルブ	30
サクションモーターの状態の確認	31
索引	32

使用に関する説明

本操作説明書を熟読し、「警告」欄の重要な安全推奨事項に従ってください。

オペレータの安全のために



警告！

掃除機を始動させる前に本書を熟読し必要ときに読めるよう手近な場所に保管してください。掃除機の作動に習熟し、また操作のための訓練を受け、オペレータとして認定された人だけが本機を使用することができます。本機を使用する前にオペレータは操作方法、掃除対象物質、吸い込んだ物質の安全な除去及び廃棄方法について説明、指示と訓練を受けてください。

掃除機の使用に関する一般的な情報

掃除機の使用は、使用する国の現在有効な法律によって定められています。操作説明書及び掃除機を使用する国の現行法の他に、安全で正しい操作を保証するための技術基準（環境及び労働の安全性に関する法律、即ち、欧州連合指令 89/391/EC 及び関連指令）にも従ってください。人、財産及び環境の安全性を脅かすような操作を実行しないでください。本説明書の安全に関する説明及び指示に従ってください。

適切な使用法

本説明書で述べる掃除機は、業務用として設計されています。危険な可燃性／爆発性粉塵や液体の掃除には不適です。また、本機は液面監視機能付きの液体吸引用モデルや吸気アブソルートフィルターをオプションで装着することも可能です。本機の周囲には適切な空間を確保してください。

環境への粉塵放出

性能表示値：

■ 通常モデル（危険な粉塵掃除用には不適）： 3 μ m 以上の粒子の少なくとも 99.1%を保持します。

一般的な推奨事項



警告！

火災発生および爆発のリスク

掃除機は、発火を引き起こすような物質を吸い込まないことがはっきりしているときだけしか使用できません。

次のような物質の掃除は禁止されています：

- ・ 燃焼物（燃えさし、熱い灰、火のついたたばこなど）
- ・ 可燃性液体、燃料（例えば、ガソリン、溶剤、酸、アルカリ溶液など）

次のような物質の掃除は禁止されています：

爆発性粉塵または自然に発火しやすい物質（マグネシウムやアルミニウム粉塵など）

掃除機は、爆発性物質、特に液体燃料及び可燃性粉塵と液体の混合物を規制する法律によって定められているような爆発性または同様の物質の掃除には不適です。



警告！

非常事態

次のような非常事態が発生した場合：

- ・ フィルターの破損
- ・ 火災の発生
- ・ 短絡
- ・ モーターの停止
- ・ 感電
- ・ その他

掃除機の電源スイッチを切り、電源コードを抜き、保守担当者に相談してください。



警告！

掃除機は、屋外または湿気の多い場所で使用または保管しないでください。

液面センサー付きのモデルだけが液体用に使用できます。

液面センサーが付いていないモデルの掃除機は、乾燥した物質の掃除専用です。



警告！

液体用のモデルでは泡または液体が掃除機から漏れた場合、直ちに電源スイッチを切り、その原因を確認してください。

電気掃除機の説明

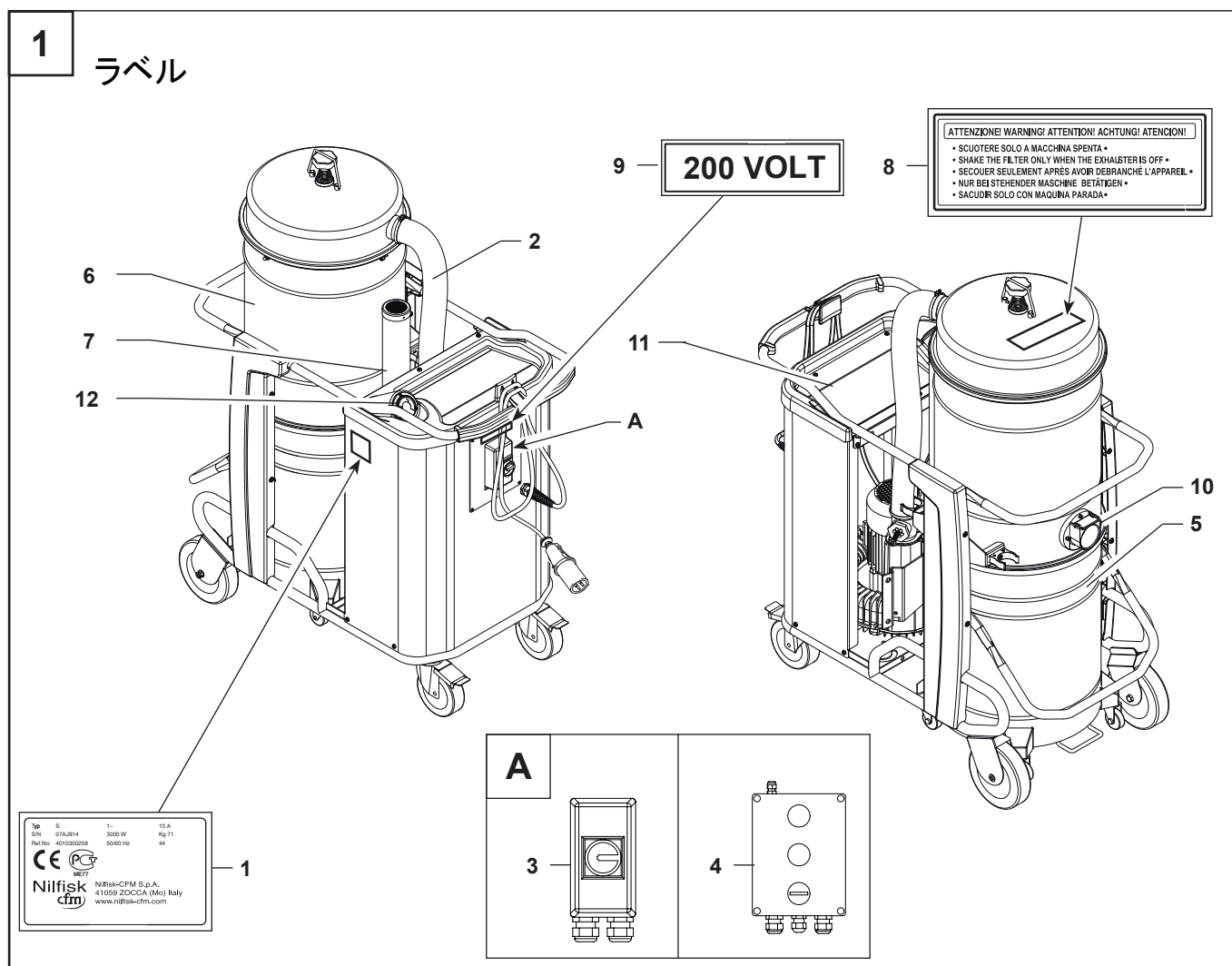


図1

- 1 銘板 : 型式コード、技術仕様、シリアルナンバー(製造番号)、CE マーク、製造年、電圧
- 2 バキュームユニオンホース
- 3 スイッチボックス(通常モデル)
- 4 スイッチボックス(液体掃除用モデル)
- 5 ダストコンテナ
- 6 フィルターチャンバー
- 7 排気口
- 8 警告プレート : 電気掃除機が OFF のときだけフィルターをシェークする旨の注意をオペレータに喚起します。
これを守らないと、フィルターのシェーキングは効果がなく、またフィルターを損傷する恐れがあります。
- 9 電源プレート : スイッチボックスに供給する電圧を表示します。
- 10 吸気口(インレット)
- 11 アクセサリー収納棚
- 12 バキュームゲージ

この掃除機は、吸気口(10)から吸い込み、排気口(7)から吐き出す強力な空気の流れを発生させます。ホース及びツールを取り付けたら、モーターが正しく回転することを確認してください。

掃除機の電源を入れる前に、吸引ホースを吸気口に差し込み、必要なツールを端部に取り付けてください。メーカーの付属品カタログを参照するか、またはサービスセンターにお問い合わせください。

この掃除機には、吸引した物質を円形の円心運動に導いて、物質を容器内に落とすバツフルプレートが内部に付いています。また、掃除機にはフィルターも付いていますのでほとんどの用途に対応できます。

オプションキット

掃除機を用途に合わせて変換できるよう様々なオプションキットが用意されています：

- ・ 液体吸引／停止用液面ゲージ
- ・ 取り外し可能セパレータ

ご希望により、電気掃除機はオプションキットを予め取り付けられた状態で提供することが可能です。これらは、後で取り付けることも可能です。



警告！

メーカーが提供及び公認した純正部品だけを使用してください。

付属品

種々の付属品が用意されています。メーカーの付属品カタログを参照してください。



警告！

メーカーが提供及び公認した付属品だけを使用してください。

梱包および開梱

現行法に従って梱包材を廃棄してください。

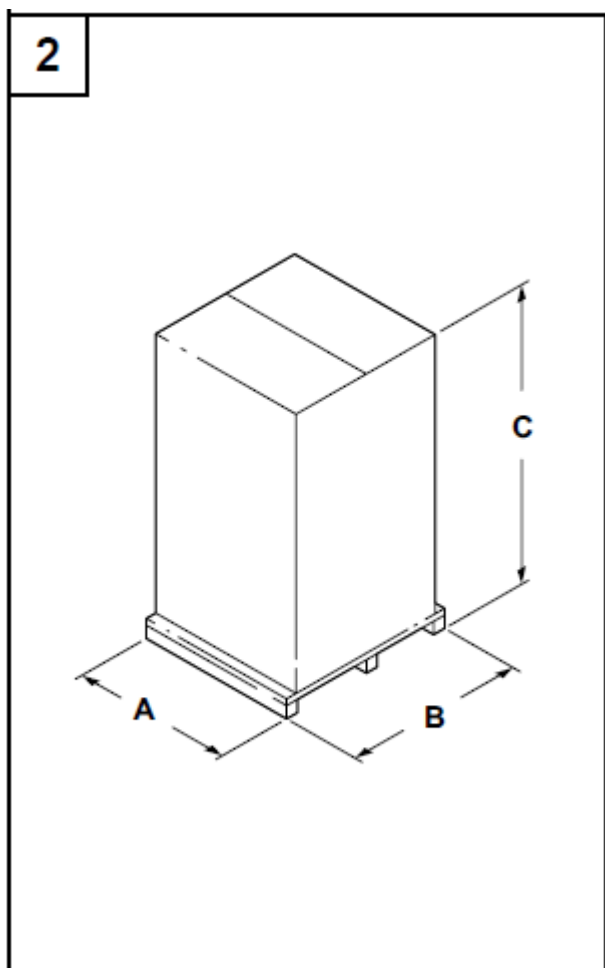


図2

型式	A (mm)	B (mm)	C (mm)	kg
T22	1,200	700	1,700	144
T40W	1,200	700	1,700	169
T63	1,200	700	1,400	182

作業準備 — 電源接続



警告！

- ・ 作業を開始する前に、掃除機が完全な状態にあることを確認してください。
- ・ 掃除機の電源プラグを電源に差し込む前に、銘板に表示されている定格電圧が電源電圧と同じであることを確認してください。
- ・ 掃除機の電源プラグを、正しく接地されている端子付きのコンセントに差し込んでください。掃除機の電源スイッチが OFF であることを確認してください。
- ・ 接続ケーブルのプラグ及びコネクタに水がかからないよう保護してください。
- ・ 電源接続及びプラグが正しいことを確認してください。
- ・ 電源に接続するケーブルが完全な状態のときだけ掃除機を使用してください（損傷しているケーブルは、感電につながります）。
- ・ 電気ケーブルに、損傷、著しい摩耗、割れ、劣化がないことを定期的に確認してください。



警告！

電気掃除機が作動しているとき：

- ・ 電源ケーブルを傷つけたり、引っ張ったり、損傷させたり、踏みつけたりしないでください。
- ・ ケーブルを電源から抜くときは、必ずプラグを持ってください（ケーブルを引っ張らないでください）。
- ・ 電源ケーブルは、必ずオリジナル HO7 RN-F と同じタイプのケーブルと交換してください。延長ケーブルを使用する場合も同様です。
- ・ ケーブルはメーカーのサービスセンターのスタッフまたは同等の有資格者に交換を依頼してください。

延長ケーブル

延長ケーブルを使用する場合、それが電気掃除機の入力値及び保護等級に合っていることを確認してください。

延長ケーブルの最小断面積： 下記参照

最大長さ： 20m

ケーブルタイプ： HO7 RN-F

最大電力(kW)	3	5	15	22
最小断面積(mm ²)	2.5	4	10	16



警告！

延長ケーブルのコンセント、プラグ及びコネクタは、銘板に表示されている掃除機の IP 保護等級に合うものでなければなりません。



警告！

掃除機の電源コンセントは、電流変動が 3 0ms 間 30mA または同等の保護回路を超えたとき電源を遮断するサージ電流制限付き差動電圧ブレーカーによって保護されていなければなりません。



警告！

掃除機に水を掛けしないでください。水を掛けますと、人にとって非常に危険な状態となり、電源をショートさせることがあります。最新の欧州連合指令、使用国の法律及び有効な電流規格(UNI - CEI - EN)、特に欧州規格 EN60335-2-69 に準拠してください。

ウェットおよびドライ用途

[注記]

- ・ 付属のフィルターまたは必要に応じてダストバッグを正しく取り付けてください。
- ・ 掃除機を液体の掃除に使用する場合、液面センサーが正しく作動することを確認してください。



警告！

掃除機の掃除対象物を規制する安全基準に従ってください。



警告！

液体用のモデルを使用する場合

- ・ 液体の掃除を始める前に、液面センサーが正しく作動することを確認してください。
- ・ 泡が発生する場合、掃除機を直ちに停止し、容器を空にしてください。
- ・ 泡または液体が漏れ出した場合、掃除機の電源スイッチを直ちに切ってください。
- ・ 液面制限装置を定期的に清掃し、損傷していないかどうか確認してください。
- ・ 回収した汚れた液体は、導電性とみなして取扱いに注意してください。

保守および修理



警告！

清掃、整備、部品交換または他の型への変換を行う前に、掃除機の電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

- ・ 本書で述べる保守作業だけを実施してください。
- ・ オリジナルのスペアパーツだけを使用してください。
- ・ どんな場合でも決して掃除機を改造しないでください。

これらの注意事項を守らないと、安全性が損なわれます。

また、その様な行為は電気掃除機に対して発行されているEC 適合宣言書が無効となります。



警告！

本書で記述していない保守作業を行う場合、弊社サービスセンターにご相談ください。

掃除機の仕様

項目	単位	T22 (50Hz/60Hz)	T40W (50Hz/60Hz)	T63 (50Hz/60Hz)
電圧	V	200	200	200
定格電力	kW	2.2/2.55	5.5/6.3	5.5/6.3
騒音レベル	dB(A)	68	72	70/74
保護	IP	55	55	55
絶縁	等級	F	F	F
容量	L	100	100	50
吸気口(直径)	mm	70	70	70
最大静圧	kPa	21/20	24/21	42/44
最大風量 (ホースおよび減速がない状態)	L/sec	83/100	130/163	86/108
メインフィルター面積	m ²	1.95	1.95	1.95

寸法

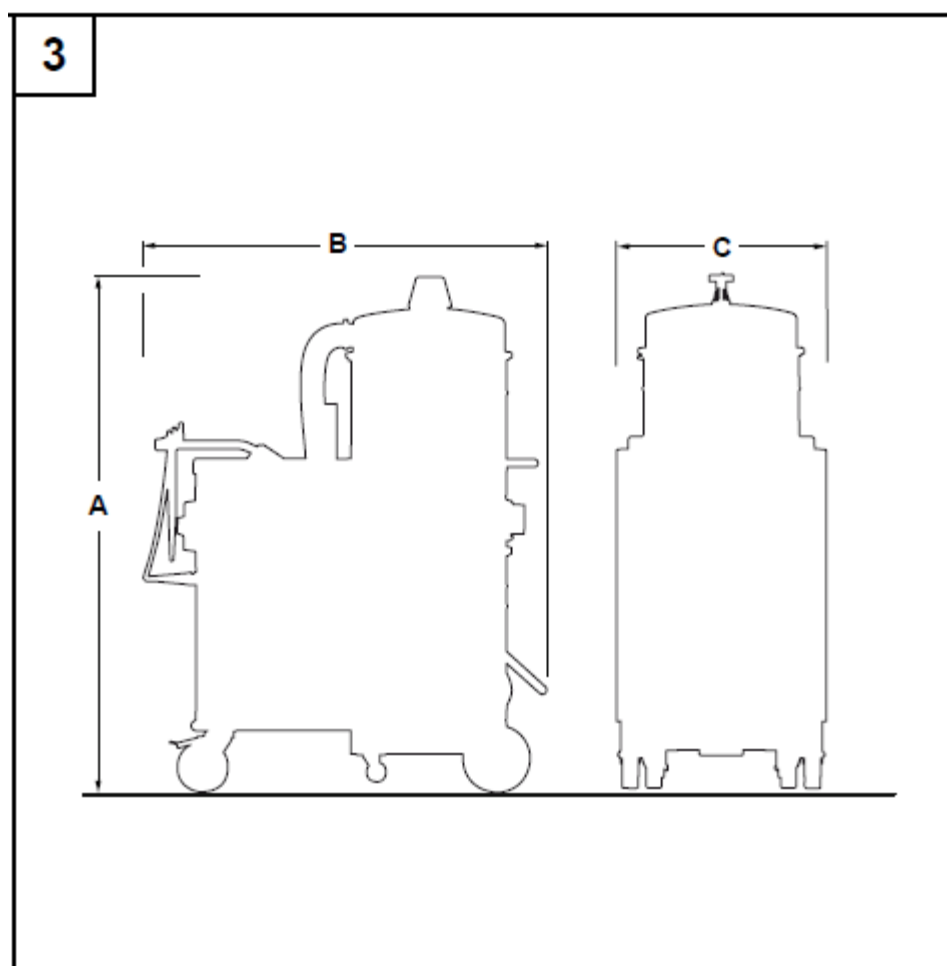


図3

型式	T22	T40W	T63
A (mm)	1,530	1,530	1,240
B (mm)	1,130	1,130	1,140
C (mm)	600	600	630
正味重量 (kg)	114	139	147

[注記]

・ 保管条件

温度: -10 °C ~ +40 °C

湿度: 85%以下

・ 動作条件

最高高度: 800m (性能は低下するが 2000m まで可能)

温度: -10 °C ~ +40 °C

湿度: 85%以下

制御機器、表示器および接続

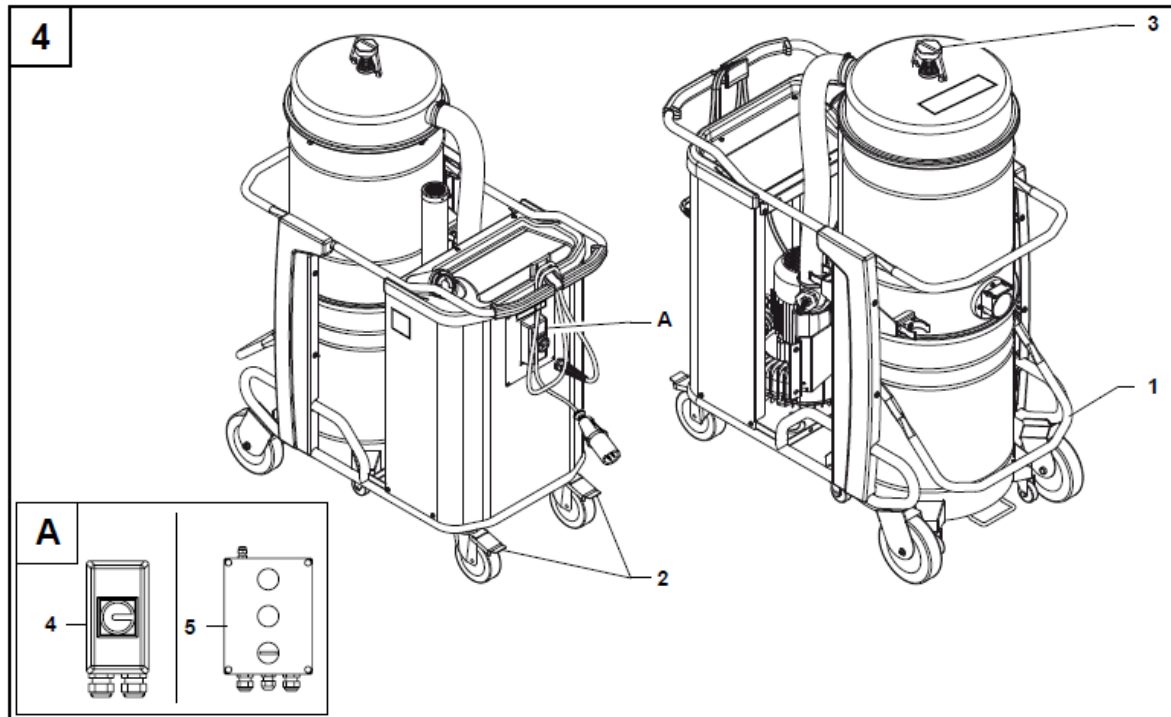


図4

- 1 ダストコンテナ脱着レバー
- 2 キャスターストッパー
- 3 手動フィルターシェーキングハンドル
- 4 始動／停止スイッチ（通常モデル）
- 5 始動／停止スイッチ（液体掃除用モデル）

始業点検

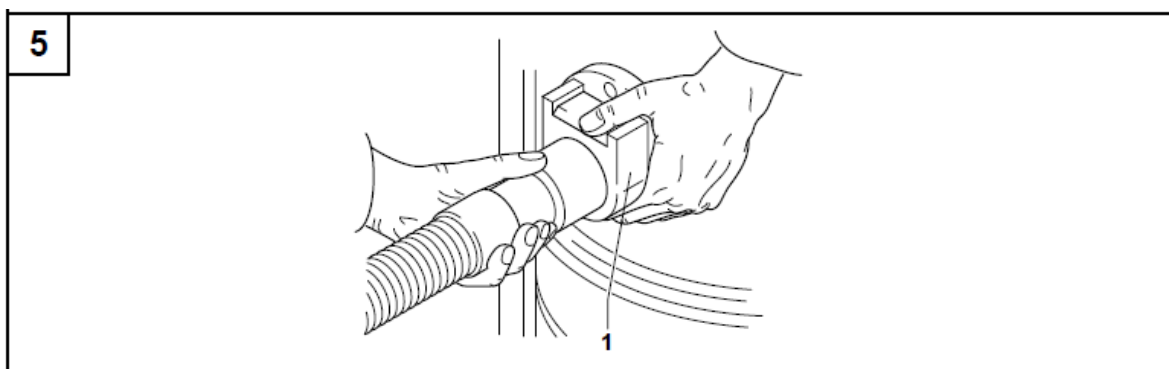


図5

1 吸気口

作業開始前に、次の点を確認してください：

- ・ フィルターが取り付けられている。
- ・ ラッチは全てしっかりロックされている。
- ・ 吸引ホース及びツールが吸気口 (1) に正しく取り付けられている。
- ・ バッグまたはセーフティコンテナが付属している場合、それが取り付けられている。

フィルターに不具合があるときは、掃除機を使用しないでください。

始動

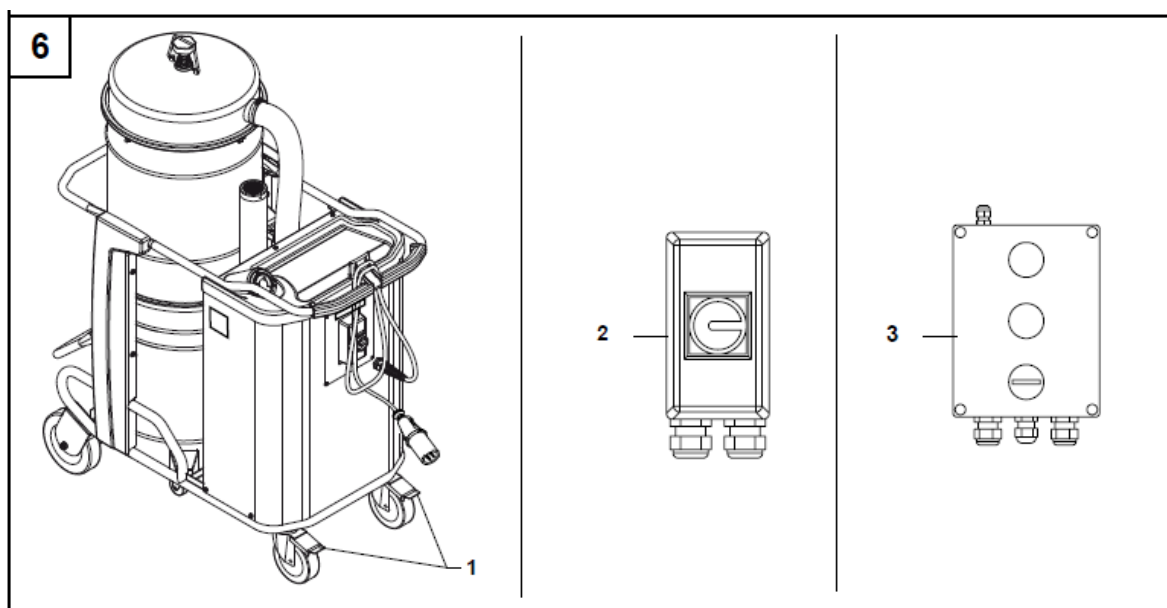


図6

- 1 キャスターストッパー
- 2 始動／停止スイッチ（通常モデル）
- 3 始動／停止スイッチ（液体掃除用モデル）

掃除機を使用する前に、キャスターストッパー (1) をロックしてください。

掃除機の始動／停止

通常モデル

- ・ 掃除機を始動させるには、スイッチ (2) を“|”位置に設定します。
- ・ 掃除機を停止させるには、スイッチを“○”位置に設定します。

液体掃除用モデル

- ・ 掃除機を始動させるには、スイッチ (3) を“|”位置に設定します。
- ・ 掃除機を停止させるには、スイッチを“○”位置に設定します。

プライマリーフィルターのシェーキング

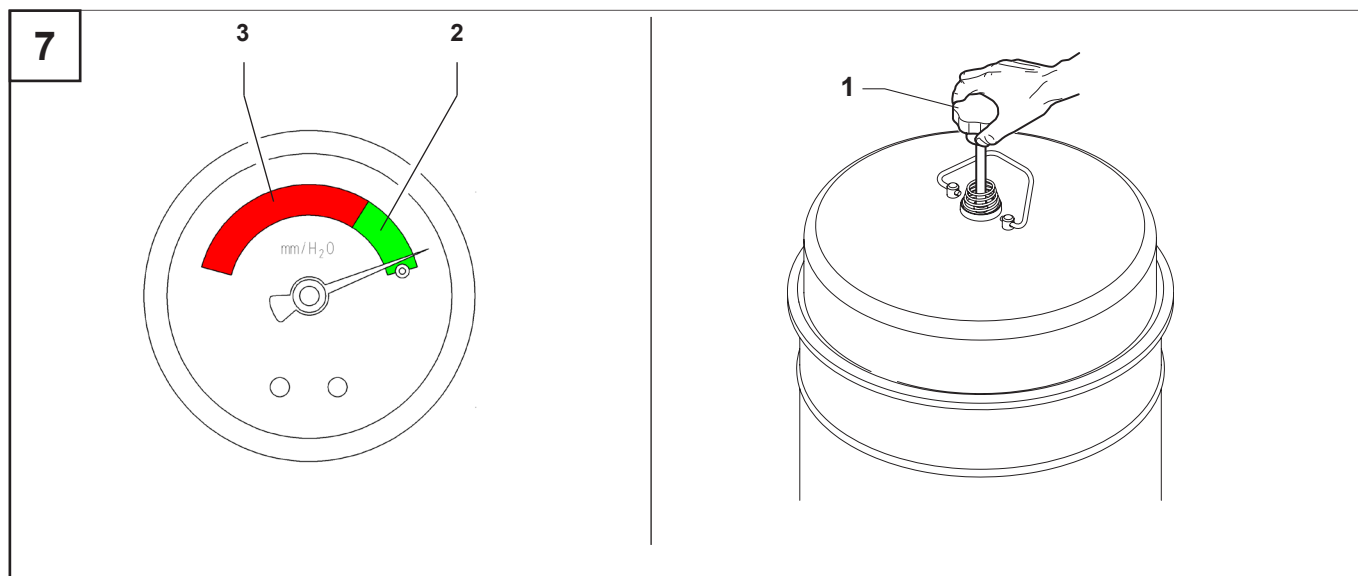


図7

- 1 フィルターシェーキングレバー
- 2 バキュームゲージ(緑): 正常
- 3 バキュームゲージ(赤): フィルターが目詰まりし、吸引力が低下しています。
電源をオフにして、フィルターをシェーキングしてください。



警告！

フィルターをシェーキングする前に、掃除機を停止させてください。
掃除機を作動させたままフィルターをシェーキングしますと、フィルターが損傷することがあります。

非常停止

電源スイッチを“○”位置に設定します。

容器を空にする



警告！

この作業を開始する前に、本機の電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

容器を空にする前に、フィルターを清掃することをお勧めします。
 (「プライマリーフィルターのシェーキング」の項参照)

8

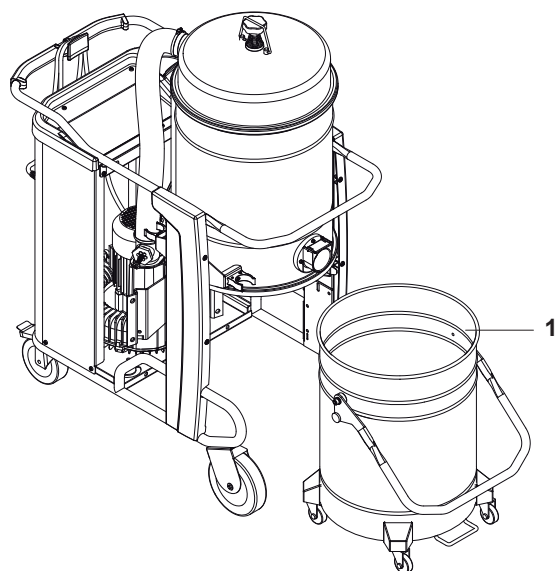


図8

1 ダストコンテナ

通常モデル

- ・ コンテナ (1) の固定を解除し、取り外して空にします。
- ・ ガasketが完全な状態であり、正しく取り付けられていることを確認してください。
- ・ 容器を元の位置に戻し、レバーを操作して容器を再び固定します。

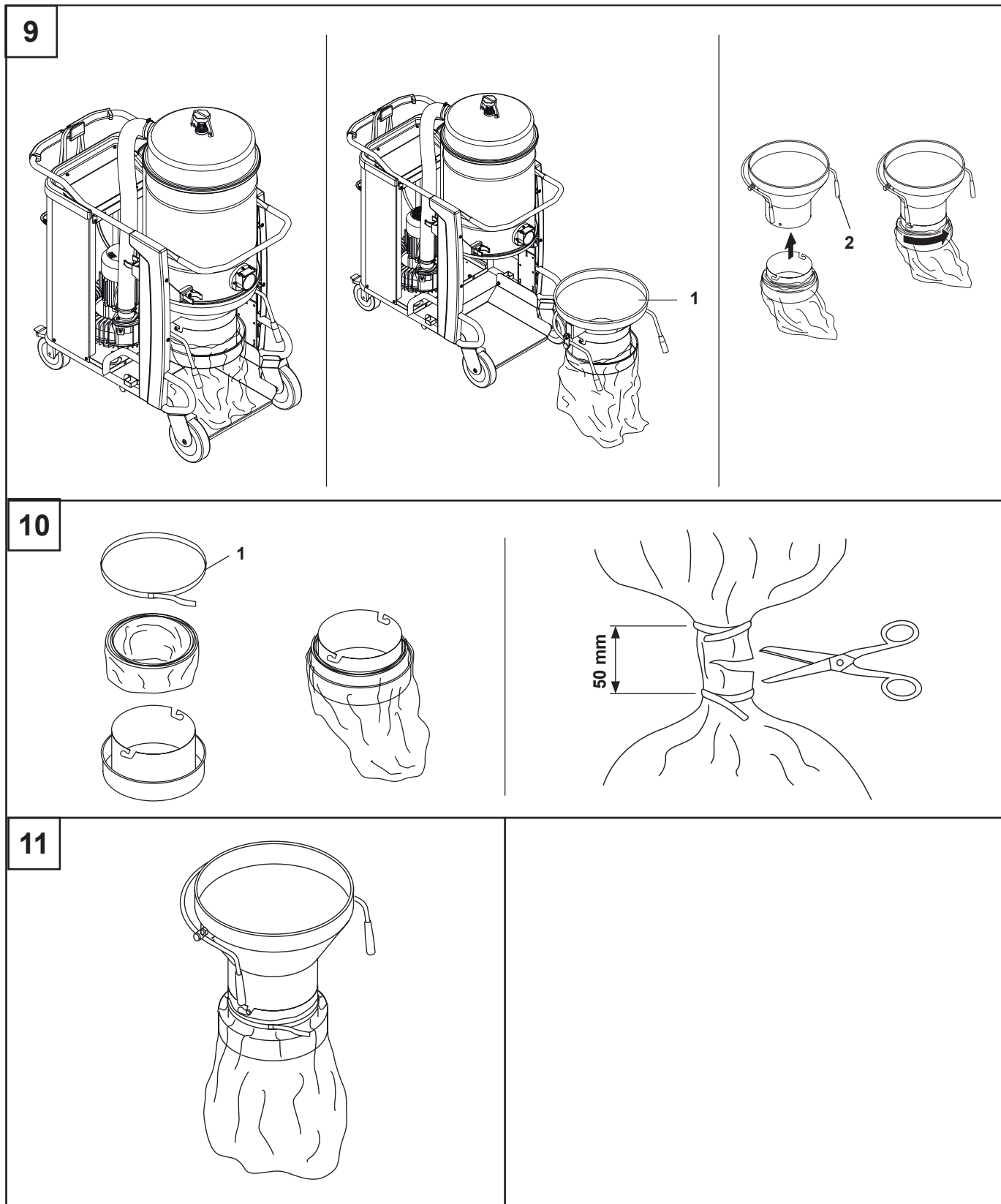
液体掃除用モデル

- ・ 掃除機に液面センサーが装着されていて、液体の掃除に適していることを確認してください。
- ・ コンテナが満タンになると自動的に停止します。

再度始動させるには:

- ・ コンテナ (1) の固定を解除し、取り外し、バルブを開放して中身を排水します。
- ・ 排水を妨げないように容器内のグリルからゴミや固形物を取り除いてください。
- ・ ガasketが完全な状態であり、正しく取り付けられていることを確認してください。
- ・ 容器を元の位置に戻し、レバーを操作して容器を再び固定します。

ディスチャージシステムキット（ロンゴパック）の使用方法とバッグの交換



ダストコンテナを外してデイスチャージシステムキット(オプション)を装着する事ができます。
ダストに手を触れることなく廃棄することができます。

図9

デイスチャージシステム(Longopac)キット(オプション)全体図

- 1 ディスポーサルバッグ固定用リング
- 2 固定用レバー

図10

- ・ デイスチャージキットを本体に取り付け、レバーで固定します。
- ・ ハウジングにビニールバッグを取り付けフック(1)で固定します。
- ・ 廃棄する場合は2か所を紐等で縛り(約 50mm 間隔)、間をハサミでカットします。

図11

デイスチャージシステムキット(オプション)はディスポーサルバッグを1枚ずつ使用することも可能です。

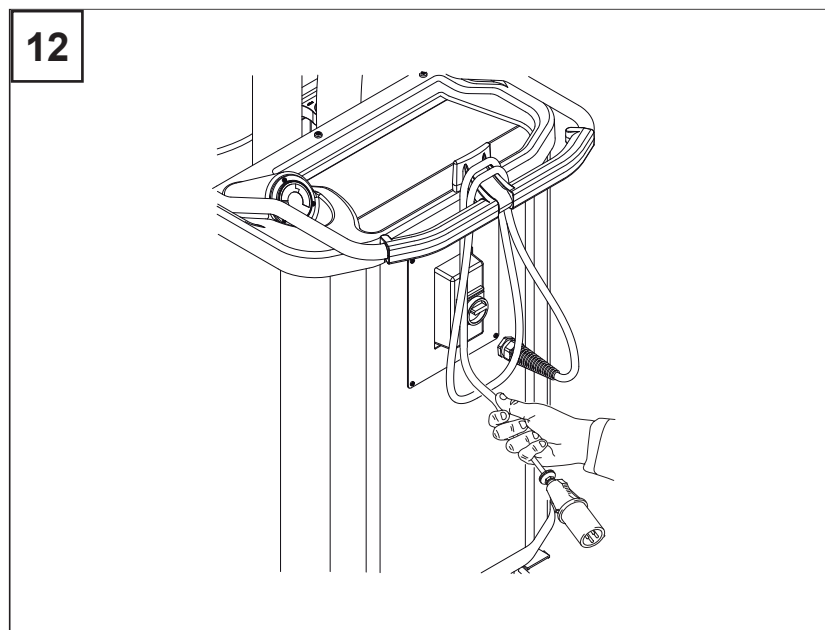


図12

清掃作業の終了時に

- ・ 掃除機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- ・ 接続ケーブルをケーブルキャリア（図 12）に巻き付けます。
- ・ 「容器を空にする」の項の説明に従って容器を空にします。
- ・ 「保守、清掃および除染」の項の説明に従って掃除機を清掃します。
- ・ 病原性の強い物質を清掃した場合は、きれいな水で容器を洗浄してください。
- ・ 掃除機は乾燥した場所に保管し、認定されていない人は手を触れないようにしてください。

保守、清掃および除染

警告！

フィルターの清掃および交換時も含めて保守作業中、下記の注意事項を守ってください。

- ・ 保守作業を実行するためには、掃除機を可能な限り分解、清掃及びオーバーホールし、保守担当者またはその他の人に危険がないよう十分注意する必要があります。
- ・ 適切な注意事項には、掃除機を分解する前の除染、掃除機を分解する部屋からの排気に対する十分に濾過した換気、保守エリアの清掃及び人に対する適切な保護も含まれます。
- ・ 気密でない箇所は適当な工具（ねじ回し、スパナなど）で開けて、徹底的に清掃してください。
- ・ 少なくとも年に一度技術的な点検を実施してください。例えば、掃除機の気密性が損なわれていないかどうかを確認するためエアフィルターを点検し、また、制御盤が正しく作動することを確認してください。
- ・ この点検は、メーカーまたは有資格者が行います。

警告！

メーカーが提供および公認した純正スペアパーツだけを使用してください。

フィルターの分解および交換

警告！

危険な物質の清掃に使用したときフィルターは汚染されます。従って、

- ・ 注意して作業を行い、吸引したほこりや物質をこぼさないようにしてください。
- ・ 分解または交換したフィルターはシールされたポリ袋に収容してください。
- ・ ポリ袋は完全に閉じてください。
- ・ 使用地域のルールに従ってフィルターを廃棄してください。

警告！

フィルターの交換は重要な作業です。

フィルターは同じ濾過表面特性を持つフィルターと交換してください。

さもないと、電気掃除機は正しく作動しません。

フィルターの交換

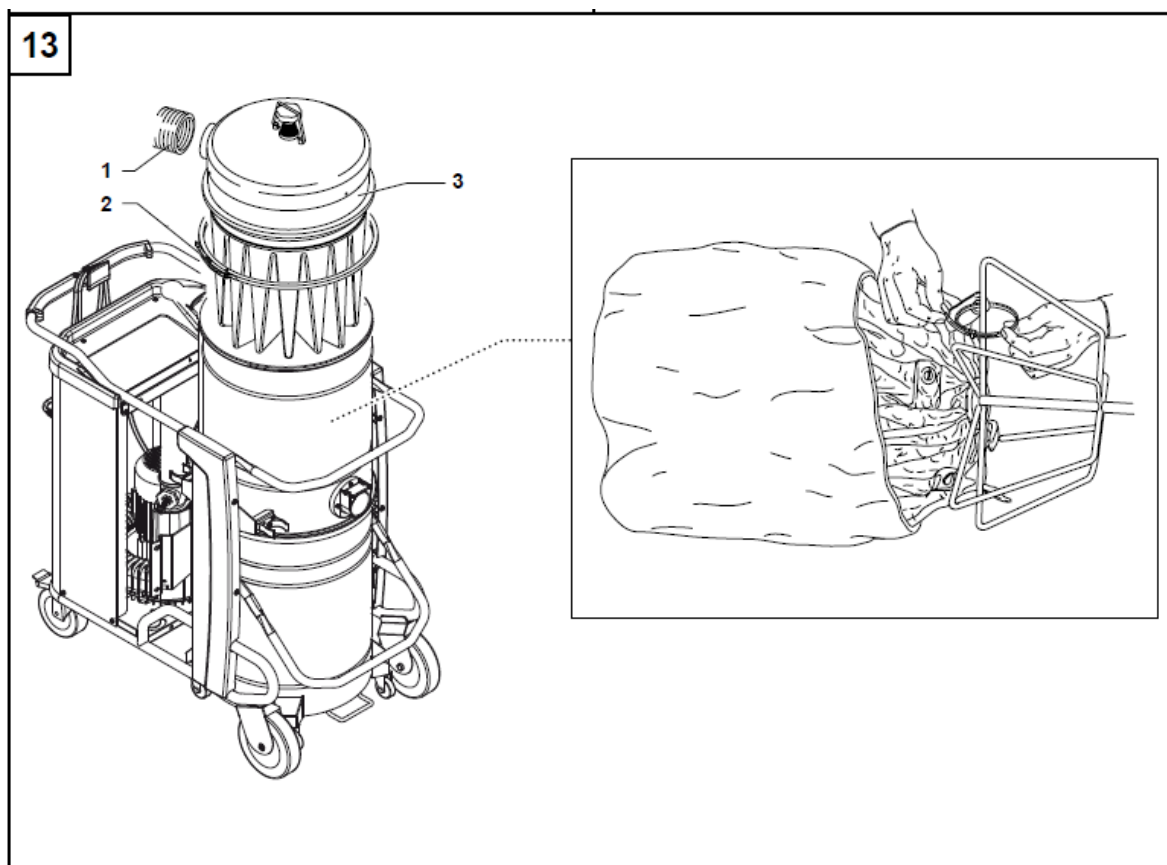


図13

- 1 吸引ホース
- 2 固定レバー
- 3 カバー

この作業を開始する前に、掃除機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・ 吸引ホース (1) を取り外します。
- ・ レバー (2) を使ってフィルターと一緒に蓋 (3) を取り外します。
- ・ 古いフィルターをケージから取り外します。
- ・ 新しいフィルターを取り付け、特殊クランプでケージに固定します。
- ・ 取外しの逆の順序でカバー及びフィルターを取り付けます。
- ・ 使用地域のルールに従って古いフィルターを廃棄してください。

HEPA フィルターの交換

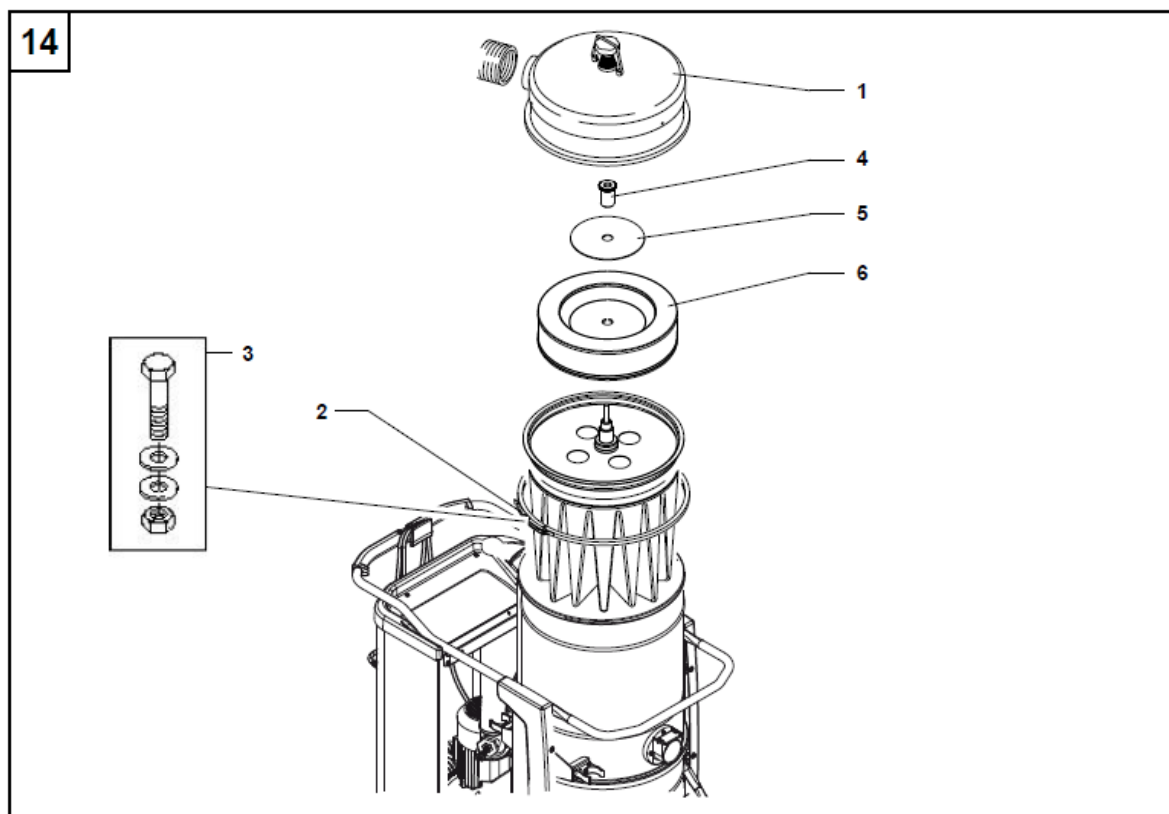


図14

- 1 バキュームキャップ
- 2 固定レバー
- 3 セーフティーボルト
- 4 HEPA フィルターロックリング
- 5 HEPA フィルターディスク
- 6 HEPA フィルター

注意

- ・ 粉塵を吸いこまない様、必ずマスクをして作業をして下さい。
- ・ 手袋、作業着を着て、体を保護する事を推奨いたします。
- ・ 使用済の古いHEPA フィルターは専門業者に依頼し、破棄して下さい。

モーター冷却ファンの点検および清掃

モーターの過熱を防止するため、特に掃除機をほこりの多い場所で使用する場合、モーター冷却ファンを定期的に清掃してください。

気密性の点検

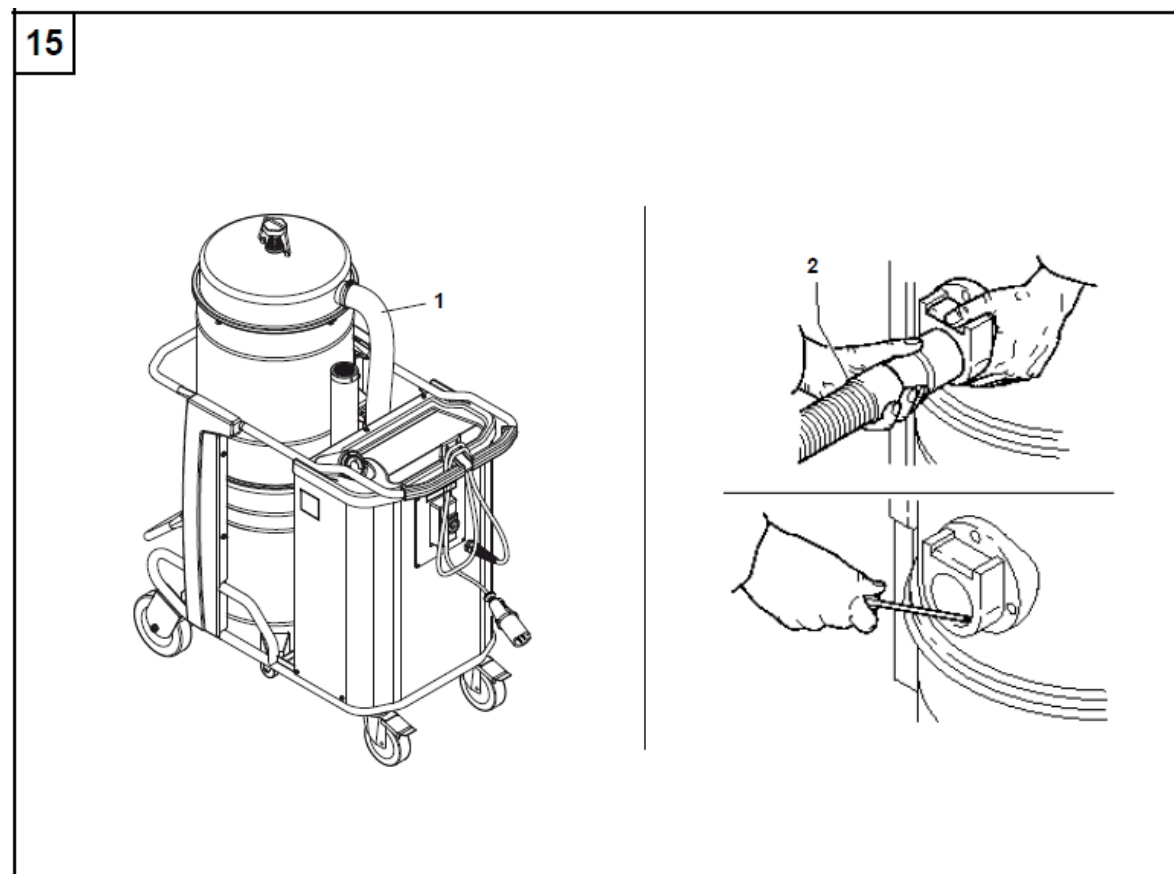


図15

- 1 ホース
- 2 ホース

ホースの確認

- ・ 接続ホース (1) が良好な状態にあり、正しく固定されていることを確認してください。
- ・ ホースが損傷、破損またはユニオンへの接続が不良の場合、交換してください。
- ・ 粘着性の物質を清掃した場合、ホース (2) に沿って、特に吸気口内およびチャンバー内のバッフルプレートが目詰まりしていないかどうか確認してください。
- ・ 図に示すように、外側から吸気口をこすり、堆積したごみを除去します。

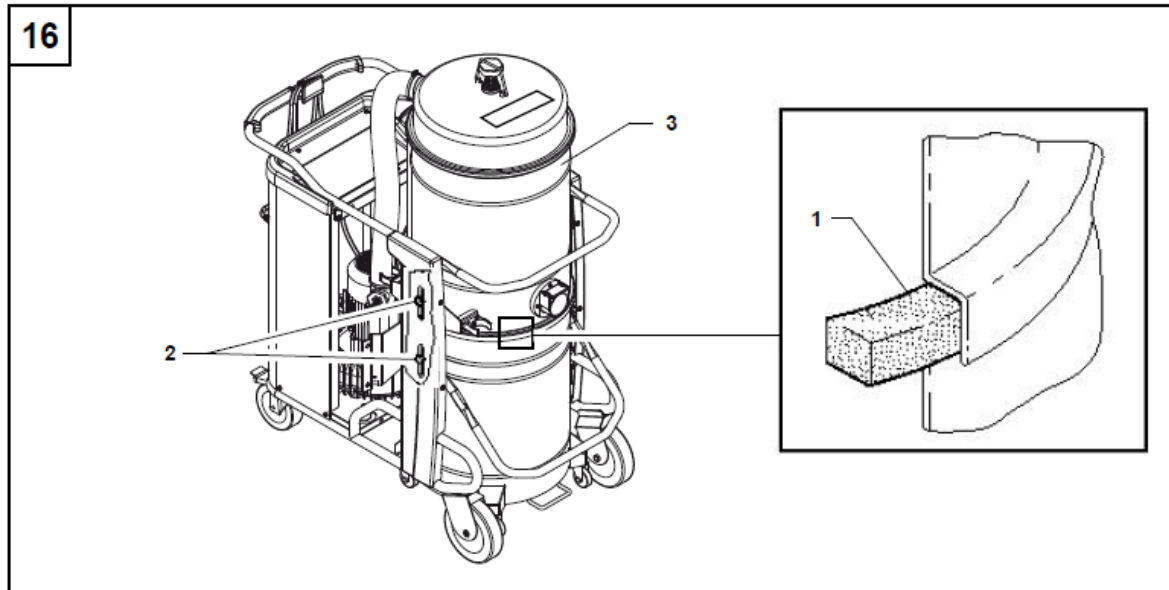


図16

- 1 ガasket
- 2 ねじ
- 3 フィルターチャンバー

フィルターチャンバーの気密性確認

ダストコンテナとチャンバー(3)との間のガスケット (1) の気密性が損なわれている場合は

- ・ チャンバー (3) と掃除機のフレームを固定しているねじ (2) 4 本を緩めます。
- ・ チャンバー (3) を下げ、気密性が保てる位置 に達したとき、ねじ(2) を締め付けます。

ガスケット(1)に破損や裂けなどが見られる場合は、交換してください。

気密性が十分でない場合は、ガスケット (1) を交換してください。

サイクロン(セパレーター)プレートの清掃 (オプション)

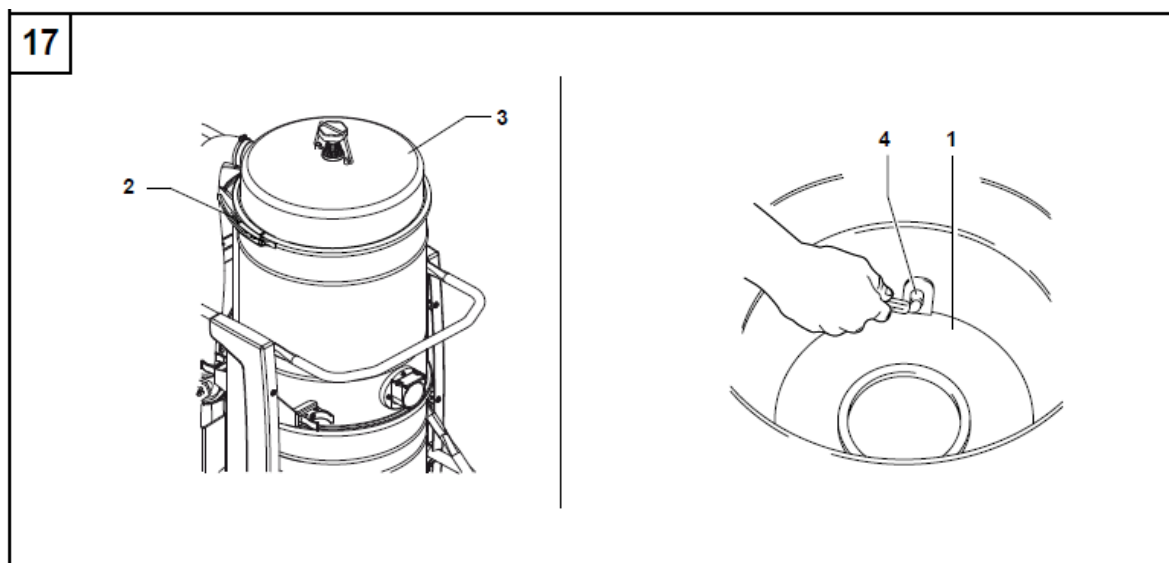


図17

- 1 サイクロンプレート
- 2 固定レバー
- 3 バキュームキャップ
- 4 ねじ

[注記]

ごみがセパレータ(1)上に堆積しているだけであれば、ごみは中央の穴から落下します。

サイクロンプレート(1)を完全に清掃するときだけ、次のように分解してください。

- ・ レバー (2) を使用して、フィルターと一緒にバキュームキャップ (3) を取り外す。
- ・ ねじ(4) を 2 本取り外し、サイクロンプレート (1) を取り外します。
- ・ 部品が著しく摩耗している場合、交換してください。

分解の逆の順序で取り付けます。

電気掃除機の廃棄

使用地域のルールに従って、掃除機を廃棄してください。

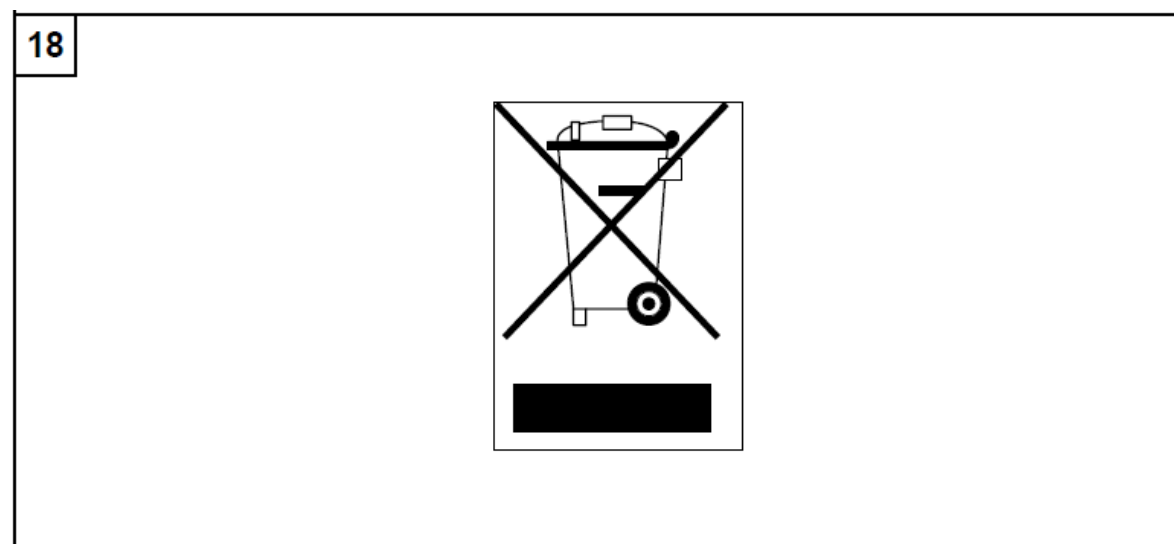


図18

配線図

標準掃除機

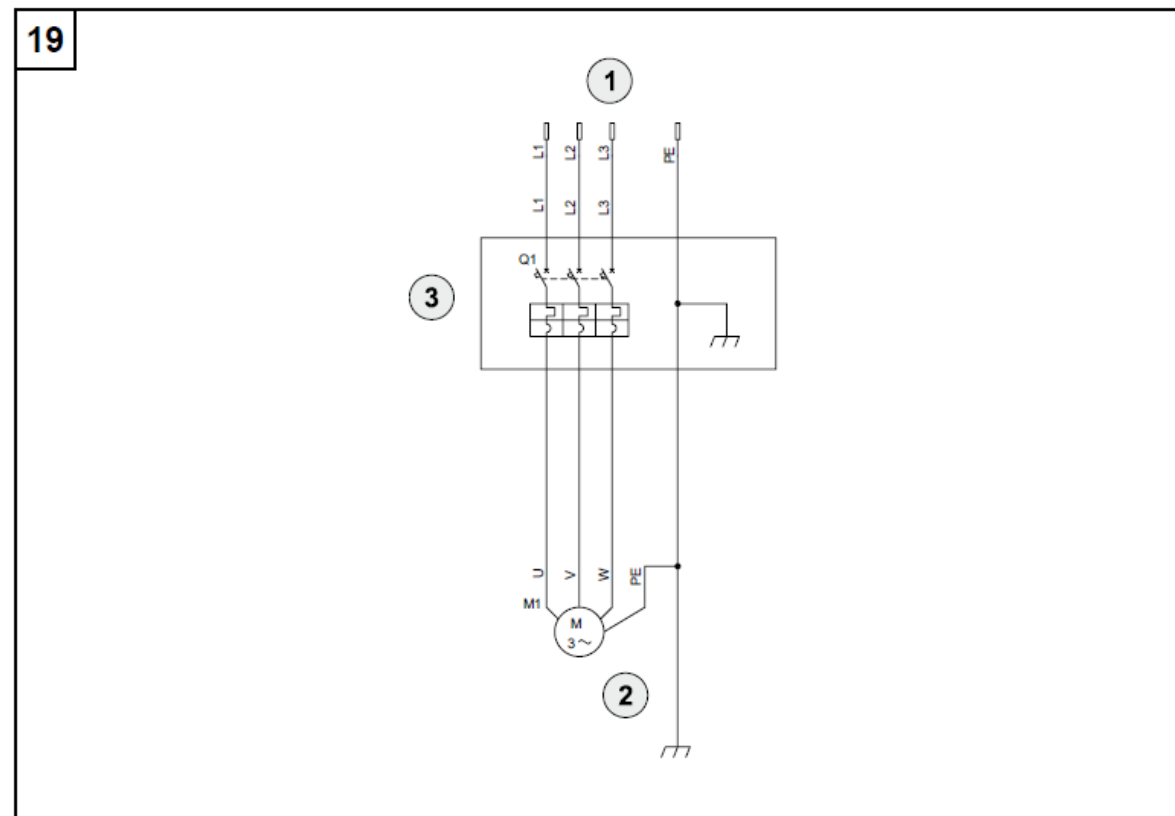


図19

- 1 プラグ
- 2 モーター
- 3 スイッチ

名称	部品	コード		
		T22	T40W	T63
Q1	スイッチ	Z8 39915	Z8 39916	Z8 39675
	Q1用ボックス	Z8 39932	Z8 39932	Z8 39947

ウェット吸引キット

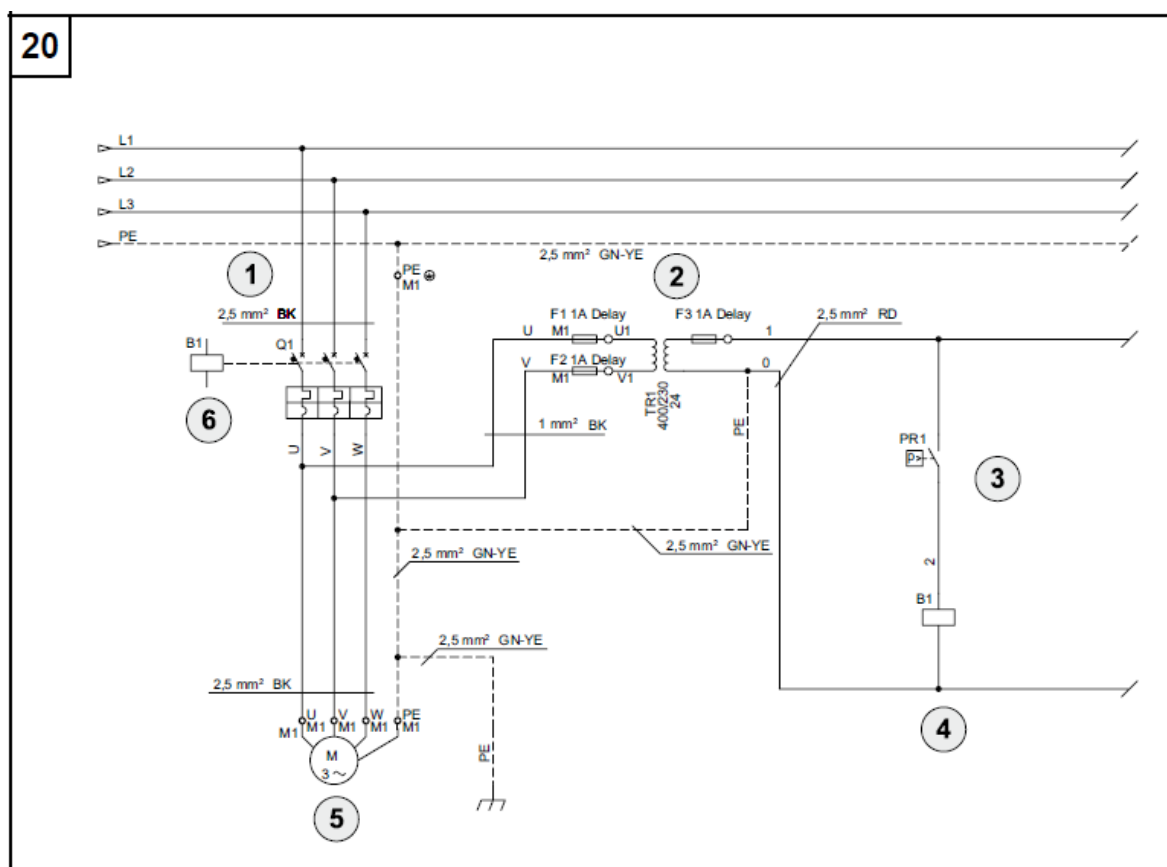


図20

- 1 電源
- 2 トランス
- 3 液面センサー
- 4 オートリリース
- 5 モーター
- 6 スイッチ

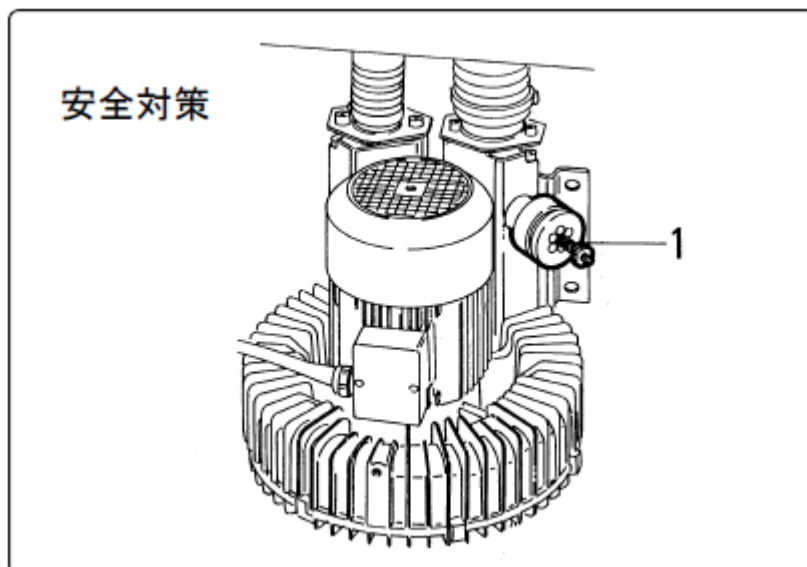
名称	部品	コード		
		T22	T40W	T63
Q1	スイッチ	Z8 39915	Z8 39915	Z8 39675
	Q1用ボックス	Z8 39954	Z8 39954	Z8 39954
B1	オートリリース	Z8 391142	Z8 391142	Z8 391142
PR1	圧力スイッチ	Z8 40841	Z8 40841	Z8 40841
F1-F2	ヒューズホルダー	Z8 39244	Z8 39244	Z8 39244
RT1	トランス	Z8 391050	Z8 391050	Z8 391050

トラブルシューティング

不良	原因	処置
掃除機が突然停止する	主フィルターの目詰まり	フィルターをシェークしてください。 シェーキングしても改善しない場合は フィルターを交換してください。
	吸引ホースの目詰まり	吸引ホースを確認し、掃除してください。
	ブレーカーが作動した	設定を確認してください。 モーターの電源を確認してください。 容器を空にしてください。 必要なら、公認アフターサービスセンターに ご相談ください。
ごみが掃除機から漏れる	フィルターの破損	同じ種類のフィルターと交換してください。
掃除機に静電気が発生する	接地されていない、または不十分	接地接続を確認してください。 特に、入力電源部を確認してください。 また、ホースには静電防止策を施して ください。
液体が掃除機から漏れる	液面監視機能が作動しない	公認サービスセンターにご連絡ください。
容器を空にした後、掃除機 が始動しない	液面監視ホースの目詰まり	容器を取り外し、液面センサーを掃除して ください。

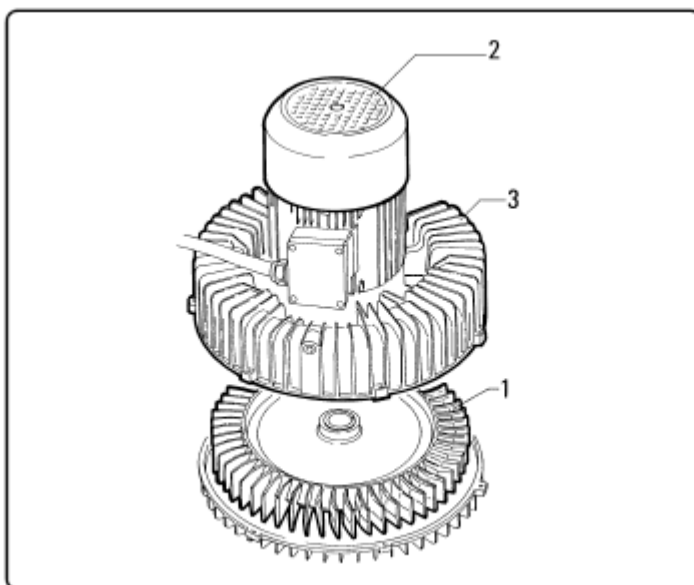
リミッティングバルブ

- 標準装着されています



全てのモデルは適切に設定されたリリーフバルブ“1”が取り付けられています。
 例えば、フィルターが完全に目詰まりをおこしたり、ホースが詰まったりする（インレットが塞がれる様な）危険な状態に長時間なった場合には、このバルブが作動します。
 これにより、モーターのオーバーヒートと過負荷を防ぎます。

サクションモーターの状態の確認



付着しやすい素材を吸引した場合や、フィルターに損害を与えるような動作があった場合には、ホースやフィルターチャンバー内のバフファのチェックだけでなく、サクションモーター“1”もきれいにする必要があります。

ダストの堆積は、ファンを不安定にして、異常な振動を生じ、ベアリングの消耗が早くなってしまいます。

このような場合には、ニルフィスクアドバンスのサービスセンターへお問い合わせください。

ケーシングからサクションユニットを取り除くには、安全な固定と持ち上げる補助が必要です。

このユニットはおよそ 50kg の重さです。

ダストが特に多い場所で掃除機を使用した場合には、定期的にタービンケーシング“3”にダストの堆積がないことを確認してください。

また、ダスト又はオイルミストがある場所では、キャップ“2”のクーリングホールが目詰まりしていないことを確認してください。

索引

HEPA フィルター, 23

オプションキット, 7

キャスターストップパー, 13

サイクロンプレート, 26

サクションモーター, 31

シェーキング, 16

ダストコンテナ, 17

ダストコンテナ脱着レバー, 13

ディスチャージデバイスキット, 18

トラブルシューティング, 30

フィルターの交換, 22

モーター冷却ファン, 24

ラベル, 6

リミッティングバルブ, 30

ロンゴパック, 18

仕様, 11

始動, 15

始動／停止スイッチ, 14

始業点検, 14

寸法, 12

廃棄, 27

延長ケーブル, 9

手動フィルターシェーキングハンドル, 13

梱包および開梱, 8

気密性の点検, 24

液面センサー, 29

配線図, 28

銘板, 6

非常停止, 16



ニルフィスク株式会社

本 社

〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-5-15

新横浜センタービル7F

TEL 045 (548) 2571 FAX 045 (473) 2511

サービスセンター

〒223-0058 横浜市港北区新吉田東 8-54-1

TEL 045 (548) 2514 FAX 045 (548) 2519

